

国見まちづくり株式会社への出資金を増額

道の駅の運転資金として4800万円を計上

12月議会定例会は12月5日から8日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、道の駅の指定管理者である国見まちづくり株式会社への追加出資金などの平成29年度補正予算、敬老祝金支給条例の一部改正など12議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般質問では4人の議員が登壇し、5項目にわたって町政をただしました。

質疑

一般会計

道の駅工事請負費の減額理由は

(松浦和子議員)

道の駅に関し、工事請負費で3000万円の減額となっている。6月に補正した分について半年足

らずでの補正減では、何のための計画だったのか疑問が残る。中央広場の雨対策が取りやめになったと聞いたが、なぜか。

まちづくり交流課長 10月はじめまでに料理長、副料理長が退職し、運営見直しを余儀なくされた。ピュッフェ中心のメニューに変更したことで、厨房の増築は不要になった。中央広場の雨対策は、現状で考えていた対策は効果が見込めないと判断し、取りやめとした。

道の駅での雪対策はしないのか

(松浦和子議員)

これから雪対策が出てくる。雨対策イコール雪対策かと思っていたが、雨対策を取りやめたことで、雪対策も必要としないと理解しているのか。

まちづくり交流課長 道の駅の施設の屋根の形状は波形になっている。雪が降ると国道4号側に落ちてい

くことが考えられる。施設の屋根の下に、雪を受け止めるひさしのようなものがデザインされ、落雪についてはそれで防ぐことが可能と考えている。駐車場など、人が歩くところについては除雪が大切になるので、まちづくり会社と協力して対策をしていきたい。

追加出資金額の根拠は

(渡辺勝弘議員)

国見まちづくり株式会社への出資金4800万円の根拠は何か。また、今後の増額もありえるのか。

まちづくり交流課長 最初に国見まちづくり株式会社社に5000万円出資して

道の駅の状況について町民への情報発信の考えは

(渡辺勝弘議員)

黒字経営になるまで3年はみたいと当初から話があったが、町民は道の駅で売上があれば当然利益も上がっていると思っ



▲売上が好調なのは直販部門
(道の駅くみに市場のようす)

町民に向けての情報発信をすべきだと思うが、どのように考えているか。

副町長

道の駅は町の復旧復興、活性化、交流連携の核であり、町の魅力の発信基地としての大事な役割を担っている。運営については、町民にも理解をいただき、一体になって進めていかなければならない。町民にどのような方法

でお知らせすればいいのか、十分に検討して対応したい。

増資による今後の資金繰りの見通しは

問

(佐藤定男議員)

国見まちづくり株式会社平成29年9月の貸借対照表からは流動資産が不足している状況が見取れる。今回の4800万円の増資で運転資金にある程度余裕が出ると思うが、まだまだ厳しいのではないかと今後の資金繰りの見通しを伺う。

まちづくり交流課長

道の駅全体で

直売部門が売上を引っ張っている。棚を空にしないように、収穫の少ない時期の野菜や県内のおみやげ品の仕入れでどうしても買掛が多くなってしまうが、本当に売れるものをきちんと精査をすることで改善を図る。

あくまでもシミュレーションだが、増資によって当面の運転資金は確保できると考えている。不足するよ

うな場合は、一時的に金融機関からの短期的な借入れなどにより対応するようになると思う。

将来的に一般の出資を募る考えはあるか

問

(八島博正議員)

国見まちづくり株式会社への4800万円の増資について、今回の増資が良いのかどうかの判断の前に、当初の計画が甘かったと思う。道の駅の売上は年間総額で8億6000万円ほどの計画で、当初の倍以上の数字になっている。

今の経営状態の中で町が追加出資をするのは当然だと思う。町の利用者は全体で8%くらいと聞いたので、一般会計からではなく、ふるさと納税がベースの特定財源であるふるさと振興基金から支出するのは良い方法である。1日も早く経営が安定し、町で100%出資しなくても、他の人が喜んで出資できるようにしていくのが将来の課題である

と思う。将来的に、一般からの出資金を募集するつもりはあるのか。

町長

数字だけ見ると、描いていた交流連携、町の維持発展の核の施設になりつつある。出資については、町の施設であり、現在は町が全額出資している。今後は、経営

の安定化を図り、町民や周辺の方などからご支援をいただき、前に進めるような道の駅の体制にしていくのが筋だと思っている。道の駅の活性化が町の活性化に必ずつながると思っているので、そうなるように対応していきたい。

平成29年度一般会計補正予算(第5号)のおもな内容

【おもな財源】	【おもな事業】
<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの繰越金 1億6597万円 ふるさと振興基金からの繰入金 1800万円 地方交付税 1252万円 災害援護資金の返還金 668万円 国・県からの補助金(障がい者自立支援給付費の減など) △167万円 その他(老人福祉施設入所者負担金など) 244万円 	<ul style="list-style-type: none"> 町債(借金)の繰上償還 1億5587万円 国見まちづくり(株)への出資金 4800万円 災害援護資金貸付金の返済 668万円 歴史公園(ハス池)整備へ向けた分析業務委託費 216万円 地域福祉計画・自殺対策推進計画策定の事前ニーズ調査費 211万円 県北中学校の部活動補助金 201万円 道の駅国見あつかしの郷施設改修工事費 △3000万円 その他(障がい者自立支援・障がい児入所給付費等の返還金など) 1711万円
計 2億394万円	計 2億394万円